

令和5年3月6日

外務省国際協力局  
民間援助連携室

認定NPO法人IVY  
代表理事 枝松直樹

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名:

国際協カトークイベント ～NGO若手職員が登場～

企画実施概要:

##### ①実施内容

トークイベント第1部「NGOに就職するまで」  
トークイベント第2部「NGOに就職してから」  
グループトーク 講師の話を聞いての感想、国際協力に必要なものについて

##### ②対象者および参加人数 東北の大学生・高校生15人

#### 2 出張者氏名

阿部真理子

#### 3 依頼元／主催団体名

認定NPO法人 IVY/ 国際協カトークイベント学生チーム

#### 4 実施予定日時

令和5年2月5日 (日) 14:00 ～ 16:00

#### 5 実施場所

オンライン

#### 6 実施報告

・同じような目標や興味のある学生と触れ合うことができ、とても刺激になりました。グループトークでも発言しましたが、海外駐在員＝専門技術者という価値観が変わりました。国際的に働くと言うことが、必ず技術的でなければいけないというわけではなく、事務的な仕事もあることを再認識できました。  
・貴重な話を聞くことが出来てよかった。進路を決めていく段階で、ある程度の見通しをたてることができた。  
・これから身につけておくべき資格や言語のことなど、確実に今後の私の人生に役立つであろう内容をたくさん知ることができた。

#### 7 写真

	
若手NGO職員である講師に大学生がインタビュー	最後全員で振り返り

以上

令和5年3月6日

外務省国際協力局  
民間援助連携室

認定NPO法人IVY  
代表理事 枝松直樹

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名: ワークショップ  
「日本に住む人間として、難民問題をどう捉えて行動していくべきか」

企画実施概要: ①実施内容  
・「難民を知るワークショップ」を実施  
・NGOのODAによる難民支援などの国際協力活動について紹介する。  
・ワークショップを通じて、難民問題をどう捉えるかを話し合う。

②対象者および参加人数  
秋田県立横手城南高等学校 1年生150人

2 出張者氏名 阿部真理子

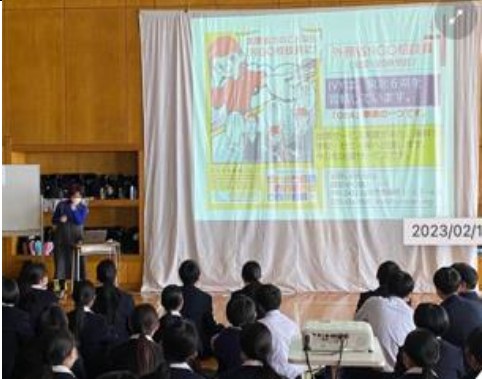
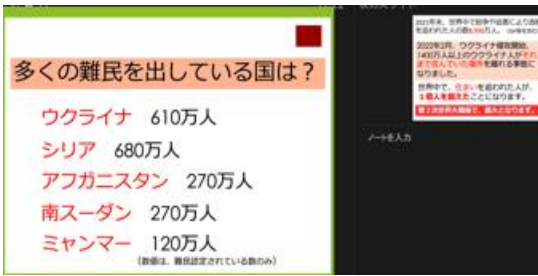
3 依頼元／主催団体名 秋田県立横手城南高等学校

4 実施予定日時 令和5年2月16日（木） 14:10 ～ 16:00

5 実施場所 秋田県立横手城南高等学校（秋田県横手市）

6 実施報告  
・難民の人たちはほんとに毎日に絶望しているような人たちだと思ったけど、自分たちの生活に生きる意味を見出していて、私達よりも大切に毎日を過ごすことが出来ていると思った。  
・難民の人たちは、ただ貧しい人ではなく、しっかりとした理由があって難民ということがわかった。  
・難民についてのこれまで持っていた考えを変えれた。私達が平和に暮らしている生活が当たり前の事じゃないんだと改めて感じられた。  
・国際協力を行うことの意味として、国同士が助け合うことで助かる人も増えることが挙げられると思う。

#### 7 写真

	
<p>NGO相談員についての説明</p>	<p>難民・国内避難民など家を追われた人の数が1億を超えた</p>

以上

令和5年3月6日

外務省国際協力局  
民間援助連携室

認定NPO法人IVY  
代表理事 枝松直樹

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名: 「NGOと体験する国際協力ワークショップ」

企画実施概要:

- ①実施内容
- ①企画内容
  - 1) ODAで実施しているNGOの国際協力活動について
  - 2) ワークショップ「大学生の国際協力活動11年を振り返る」実施
  - 3) グループトーク「国際協力はなぜ必要か？」
- ②対象者および参加人数: 高校生・大学生 11名

#### 2 出張者氏名

阿部真理子

#### 3 依頼元／主催団体名

JICA東北

#### 4 実施予定日時

令和5年2月19日 (日) 13:30 ~ 16:30

#### 5 実施場所

岩手日報一関支社2階会議室(岩手県一関市)

#### 6 実施報告

・普段学ぶことが出来ない支援について考えることが出来、いい機会となった。これからも国際協力について考え自分も協力していきたい。  
・国際協力について「国際協力は必要だ」「貧困や飢餓を救いたい」という抽象的なものでしたが、そのために何をしたらいいのか、国際協力の意味など具体的な目的を考えないといけないのだと思いました。  
・実際に国際協力をしている人の話を直に聞くのは初めての体験だったので、勉強になった。同じ年代の人とディスカッションするのも刺激的だった。

#### 7 写真

	
学生が行った国際協力活動の進み方について説明	国際協力はなぜ必要か？

以上

令和5年3月6日

外務省国際協力局  
民間援助連携室

認定NPO法人IVY  
代表理事 枝松直樹

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名: ワークショップ「難民支援の活動を知り、自分たちでできるアクションプランを考える」

企画実施概要: ①実施内容  
1) ODAで実施しているNGOの国際協力活動について  
2) 「難民を知るワークショップ」実施  
3) 自分たちでできることを考える。

②対象者および参加人数  
1年生36人

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元／主催団体名 福島県立郡山高等学校

4 実施予定日時 令和5年2月21日（火） 13:10 ～ 15:00

5 実施場所 福島県立郡山高等学校(福島県郡山市)

6 実施報告  
・将来の夢に関して視野を広げることができました。寄付を始めとしてできることがたくさんあるので積極的に参加していきたいです。  
・公共や歴史の授業では難民について触れることがあり、実際に難民条約について学びましたが、授業では知ることができない難民の方たちの現状や今、実際に起きている難民の課題について詳しく知ることができて良かったと思いました。  
・CMなどでも難民の人たちの支援についてやっているのを見るが、これからは聞き流すのではなくもっと注目してみたいと思った。

#### 7 写真

	
難民とはどんな人？（難民の定義）	グループワーク「あなたは国外に逃げるか？」

以上

令和5年3月6日

外務省国際協力局  
民間援助連携室

認定NPO法人IVY  
代表理事 枝松直樹

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名: ワークショップ「貿易ゲーム」

企画実施概要:

- ①実施内容
  - ・ワークショップ「貿易ゲーム」
  - ・NGOの活動紹介
- ②対象者および参加人数  
6年生21人

#### 2 出張者氏名

阿部真理子

#### 3 依頼元／主催団体名

天童市立津山小学校

#### 4 実施予定日時

令和5年2月27日（月） 10:45 ～ 11:45

#### 5 実施場所

天童市立津山小学校（山形県天童市）

#### 6 実施報告

・貿易ゲームをやって、苦しく厳しい状況の国があったり、優雅に過ごしている国があったり、やはり世界にはいろいろな国があるんだとわかりました。  
・それぞれの国で持っているものに差があるから、平等ではない。お金も技術も資源もない国は、貿易することが難しい。ゲームだといえけれど、実際にはすごく大変なのは。  
・世界に置き換えてみると、困っていない国はそのままっといい方向に進んでいくけれど、困っている国はずっとそのままだから助けた方がいいと思った。ゲームの中のグループの持っているものの違いは、認めてはいけない「多様性」だと思った。全ての国が支え合っていくことが本当の「認め合える多様性」であり、このような多様性を作るには、日本が困っている国を助けないとはいけないと思った。

#### 7 写真

	
貿易ゲームの結果発表、ゲームの振り返り	国際協力活動とSDGsについて

以上

令和5年3月3日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
アイキャン

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名: 静岡文化芸術大学の学生に対する講演

企画実施概要: ①企画内容  
「国際キャリア・デザイン概論」の講義において、「グローバルなキャリアをどう準備、発展させていけるか」について講演を行う。

②対象者および参加予定人数  
同校文化政策学部国際文化学科の2～4年生 37名

2 出張者氏名 認定NPO法人アイキャン 藤目春子

3 依頼元／主催団体名 静岡文化芸術大学

4 実施日時 2023年2月16日(木) 10:40～12:10

5 実施場所 静岡文化芸術大学 南279中講義室(静岡県浜松市)

6 実施報告  
グローバルなキャリアの中でもNGOで働くことについて、具体的なケースを紹介することを目的として講演を行った。特に、なぜNGOをめざしたのか、学生時代にやったこと、キャリアをどう形成していったか、業務に必要な能力や資格は何か、といった点について、自身の経験をもとに話した。また、開発協力や非営利活動へのイメージが少ない学生が多かったことから、写真も交えながら具体的に、どのような仕事があるのかを伝える工夫を行った。学生からは、「非営利組織で働くうえで身につけておいた方が良い力や心持は何か」といった質問もあり、具体的な選択肢としてNGOのキャリアを検討する足がかりを学生たちに提供できた。

#### 7 写真



相談員のポスターを掲示するのみでなく、最初に相談員に関する説明も簡単に行い、学生たちが講義後にも気軽に相談できるよう配慮した。

(写真1)



実際に働く人からの話を聞ける機会は少ないことから、多くの学生が熱心に耳を傾けており、頷きながら内容に共感する姿もあちこちで見られた。

(写真2)

以上

令和5年3月2日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
アイキャン

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名: 恵那市立中野方小学校における講演会

企画実施概要: ①実施内容  
恵那市立中野方小学校の「社会科」の授業において、「国際協力の分野で活やくする人々」というテーマで講演を行った。受講したのは6年生12名および教員である。フィリピン、イエメン、ジブチ等での活動経験を有する当団体が、写真や映像、現地の子どもたちの声も交え、貧困などの地球規模の課題とその現状とともに、NGOの価値や果たすべき役割を伝えた。

②対象者および参加人数  
恵那市立中野方小学校 6年生 12名

2 出張者氏名 庭田美環



3 依頼元／主催団体名 恵那市立中野方小学校

4 実施予定日時 令和5年2月21日(火)13時55分 14時40分

5 実施場所 恵那市立中野方小学校 6年生 教室

6 実施報告  
講演では大きく分けて、①NGOとは何か ②子どもたちが持つ権利とは何か ③フィリピンの路上の子どもたちの現状 ④フィリピンでのNGO活動 ⑤わたしたちにできること、の5つで構成をした。まだ小学生ということもあり、NGOとはなにか、子どもの権利条約とはなにか、などについて事前知識がある児童はいなかったが、当講演を通してある程度は具体的にイメージしてくれたのではと感じられた。マニラの路上で暮らす子どもたちの動画を上映したが、自分たちと同年齢の子どももあり、そこに驚いたようだった。講演の最後には「国際協力に興味を持った」という声もあった。

#### 7 写真

	
<p>写真や動画を用いながら、フィリピンの路上の子どもたちの現状、フィリピンにおけるNGO活動について当団体の事例を交えて説明した。</p>	<p>授業が終わったあとには、個別に児童がこちらまで来てくれ「毎月どのくらいのご寄付が集まるのか」という質問が挙がった。</p>

(写真1)

(写真2)

以上

令和5年3月2日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
アイキャン

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名:

長野県上田高校における講演会

企画実施概要:

- ①企画内容:同校の生徒16名に対して、フィリピンの基礎知識、路上の子どもやゴミ処分場地区など、フィリピンにおけるNGOの活動に関する講演を行う。
- ②目的:フィリピンにおけるNGOの活動について講演を行うことで、生徒のグローバル社会におけるキャリア形成と視野を広げることを目指す。
- ③参加人数:上田高等学校生徒 16名

#### 2 出張者氏名

庭田 美環

#### 3 依頼元/主催団体名

長野県上田高等学校

#### 4 実施日時

2023年2月28日(火)14時00分 ~ 15時30分



#### 5 実施場所

長野県上田高等学校

#### 6 実施報告

講演は大きく分けて①NGOとはなにか ②子どもの権利条約 ③フィリピンの路上の子どもたちの現状 ④アイキャンの活動 で構成をした。国際協力NGOに興味のある生徒の受講であったため、①②の知識は持っている生徒が多かった。③④のパートでは、生徒たちにフィリピンに行かずともなるべく具体的なイメージを持ってもらおうと動画を5本上映した。講演後(15時30分以降)にも、さらに話を聞きたいという生徒たちの熱心な声上がり、時間を延長して追加で質問を受けながら話をした。児童養護施設の子どもたちを思う具体的な質問が挙がった他、現地でのスタディツアーへの強い興味が見られた。

#### 7 写真

	
<p>フィリピン現地の様子をなるべく感じてもらうため、5本の動画を上映した。</p>	<p>希望生徒の参加ということもあり、講演後には鋭い質問が挙がった。</p>

(写真1)

(写真2)

以上



令和5年2月5日

外務省国際協力局  
民間援助連携室

特定非営利活動法人  
関西NGO協議会

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

- 企画名:** 「第30回ワン・ワールド・フェスティバル」での相談対応
- 企画実施概要:** ①実施内容:「NGO相談員ブース」において、NGO相談員のチラシ配布、来場者の相談対応およびNGO相談員団体の紹介など、国際協力に関する情報を提供した。
- ②対象者および参加人数  
ブース会場来場者のうち38名

#### 2 出張者氏名

佐野光平、仲井友佳子、高橋千絢

#### 3 依頼元／主催団体名

ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

#### 4 実施予定日時

令和5年2月4日(土)、5日(日) 10:00～17:00

#### 5 実施場所

〒530-0025 大阪府大阪市北区扇町2丁目1-27

#### 6 実施報告

- ・コロナ禍で海外渡航という選択肢を思い浮かばなかったが、スタディツアーを再開するNGOがあることがわかった。オンラインで開かれる事前説明会に参加する。
- ・首都圏への転勤を控えていたため、関西地域のNGOと関西地域以外のNGOの両方について知ることができて良かった。どちらにも関わりたい。
- ・ODAの一環で無料出張サービス制度があることを初めて知った。若者の国内思考や、若年層に国際協力の必要性を伝えるにあたって大変いい制度なので、ぜひ活用したい。また、他の教員にも知らせたい。

#### 7 写真



以上

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名： ワン・ワールド・フェスティバル2022での相談対応

企画実施概要： ①企画内容  
「NGO相談ブース」において、NGO相談員のチラシ配布、来場者の個別相談に応じ、開発教育や国際協力に関する情報提供、団体の紹介などを行う。

②目的  
・西日本最大の国際協力のイベントにおいて、来場者からの国際協力やODA、NGOに関する質問・相談に対応する。様々なバックグラウンドの来場者、一般市民からの相談に対応するため、多様な経験と事業内容を有する複数団体で相談の対応に応じる。また、ブース付近を通行する不特定多数の来場者へNGO相談員のチラシ配布等を通して、相談員制度の広報、制度活用の普及を促す。

2 出張者氏名 伊藤容子

3 依頼元/主催団体名 ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

4 実施予定日時 令和5年2月4日 (土) 10:00~17:00

5 実施場所 カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園

6 実施報告 10件の相談案件に対応、区分は、NGO関係者、学生、その他が多かった。関心層としては、国際協力に関心があるもしくは、これから関わりたいという来場者で、相談員ブースで気軽に足を止め、相談することができる、イベントの環境であった。相談内容としては、企業やNGO間の転職のハブおよびその立ち上げといったものから、学生が現在できるボランティア、NGOの活動など多岐にわたった。また、ポスターやバナーを見て、NGOに対して外務省が委託していることや相談員の体制に好意をもつ来場者も多かった。

#### 7 写真

	
相談対応の様子(学生)	相談対応の様子(ご家族)

令和5年2月16日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名:

「第30回ワン・ワールド・フェスティバル」での相談対応

企画実施概要:

##### ①実施内容

第30回ワン・ワールド・フェスティバルにて「NGO相談員ブース」を出展し、NGO相談員のチラシ配布、来場者の相談対応およびNGO相談員団体の紹介など、国際協力に関する情報を提供した。

##### ②対象者および参加人

当会での相談対応対象者 9名

#### 2 出張者氏名

中村朱里(2月4日)、坂西卓郎(2月5日)

#### 3 依頼元／主催団体名

ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

#### 4 実施予定日時

令和5年2月4日(土)、5日(日) 10:00~17:00

#### 5 実施場所

北区民センター(大阪市北区)

#### 6 実施報告

関西最大級の国際協力の本イベントにおいて、相談員ブースを設置し、他団体と協働で相談対応にあたった。コロナ禍が始まって以来約3年ぶりの出展であり、当日は学生、教育関係者からNGO関係者、家族連れまで幅広い層の参加者の姿がみられた。

当会の担当枠では、計9件(NGO関係者7人、学生1人、その他1人)の相談対応を行い、内容は組織運営・マネジメント6件、インターン・就職相談2件、緊急援助・海外情勢1件であった。また相談者及び来場者には相談員チラシを配布し、制度の概要や活用方法等について説明を行い、相談員制度の周知に努めた。

#### 7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和5年2月7日

外務省国際協力局  
民間援助連携室

特定非営利活動法人  
NGO福岡ネットワーク

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

**企画名:** 福岡市役所ロビーにおけるパネル展でのNGO相談員ブース出展と運営

**企画実施概要:** ①実施内容: 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)が実施する加入団体活動紹介パネル展にて、NGO・国際協力についてのパネルを設置。新型コロナウイルス感染対策を実施した上で展示パネルの説明および訪問した一般市民から国際協力に関する相談を受け付けるブース運営を行う。

②対象者:福岡市役所を利用する一般の方。FUKU-NETに加盟し国際交流・国際協力に取り組む団体。  
参加人数:76人(5日間合計)

#### 2 出張者氏名

原田君子/ 安村妙/ 松崎浩平(理由:対応スタッフを日替わりで1名ずつ配置するため。31日と5日は設置・撤去作業があるため2名配置)

#### 3 依頼元/主催団体名

福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

#### 4 実施予定日時

1月31日(火)~2月5日(日) 9:00 ~ 18:00

#### 5 実施場所

会場名 福岡市役所本庁舎1Fロビー(福岡市中央区天神1丁目)

#### 6 実施報告

福岡市の国際協力団体(計19団体)が集まり、パネルやチラシで各団体の紹介を行った。NGO相談員出張相談受付ブースを設置。ブースには幅広い年代の方が立ち寄り、「世界中で発生している貧困や環境問題について教えてほしい」という問い合わせや「NGOやSDGsという言葉は聞いたことがあるが、具体的内容は知らなかったので理解できてよかった」といった感想をいただいた。

#### 7 写真



以上